

経営比較分析表（令和3年度決算）

青森県 階上町

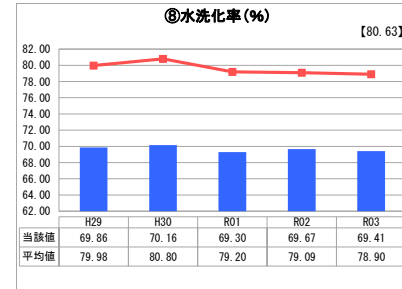
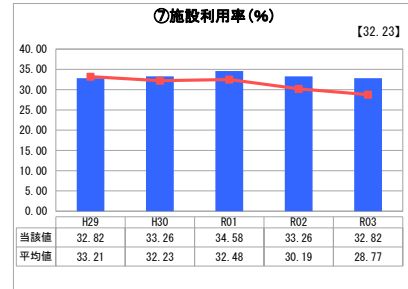
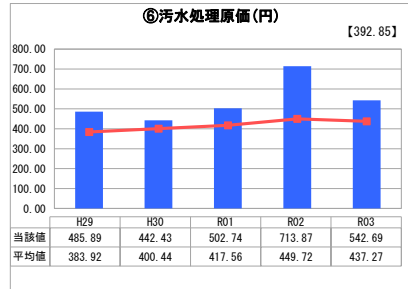
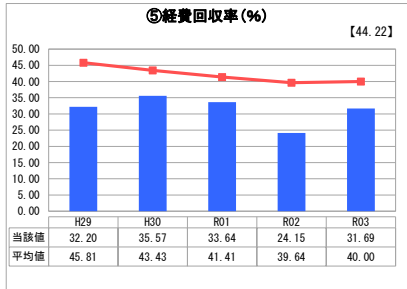
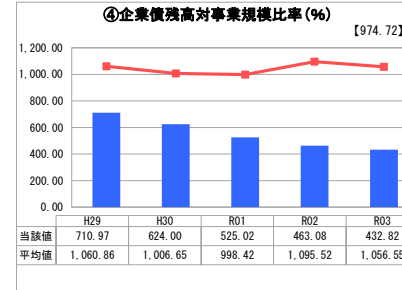
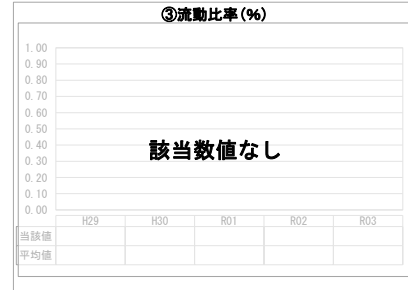
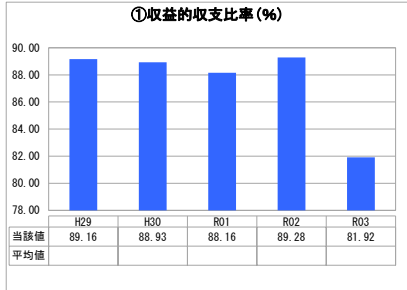
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.43	77.70	3,226

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,064	94.00	138.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
706	1.17	603.42

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
前年度と比較して、7.36ポイントの減。近年は80%台で推移しており、赤字経営が慢性化している状況である。

④企業債残高対事業規模比率について
類似団体と比較して低水準となっている。事業完了しており年々減少する見込みである。

⑤経費回収率について
前年度より7.54ポイントの増。収益的収支比率と比較して低い水準にあり、使用料収入以外の収入に依存している状況にある。

⑥汚水処理原価について
有収水量の減に対し汚水処理費が増加したため、類似団体より高い水準となった。事業が完了しており接続件数の増は見込めないことから、維持管理費の削減に努める必要がある。

⑦施設利用率について
前年度から比較してほぼ横ばいの状態である。類似団体より高い水準にあるが、施設利用が過大な状況ではない。

⑧水洗化率について
前年度から比較してほぼ横ばいの状態である。事業の完了及び区域内人口の減少により、大幅な接続数の増加は見込めない状況にある。経営の健全化を図るため、汚水処理費の更なる削減と、令和6年度に料金改定を実施予定。

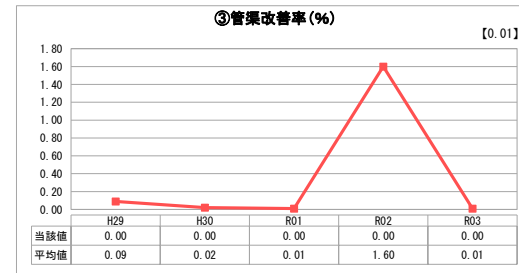
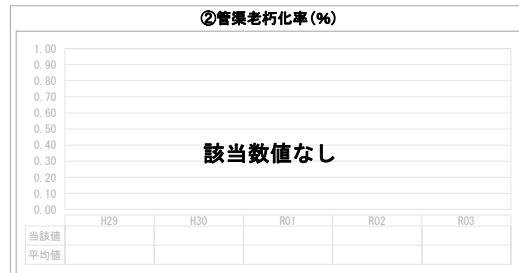
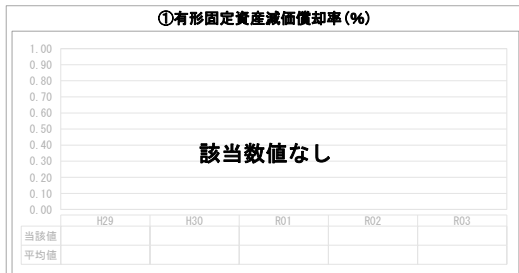
2. 老朽化の状況について

東日本大震災の被害を受け、電気設備の入れ替えを行ったが、大規模な更新は行っていない。

平成11年の供用開始から20年以上が経過し、機械設備等は標準的耐用年数を経過している状況である。

管路については平成28年度から令和2年度にかけ清掃を実施。今年度機能保全計画を策定したことから、今後は計画に基づき更新及び改築等について検討していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

漁業集落排水事業については、概ね類似団体に近い経営状態であるが、事業が完了していること及び区域内人口の減少もことから接続数の大幅な増加は見込めない状況である。

引き続き使用料収入を確保するとともに、維持管理費を抑えつつ更新及び改築等の投資を検討し、経営の健全化を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。